取扱説明書の差し替えページ

取扱説明書の印刷後、修正になったページを掲載しました。

該当ページを差し替えてお読みいただきますようお願い申し上げます。
ご不明な点は、販売店または弊社営業所までご連絡ください。

本書の一部機能については、ファームウェア Ver.1.60 以降の機種に対応しています。
ファームウェアのバージョンは、電源をオンにした際にディスプレイに表示されます。
「電源をオンにする（取扱説明書 P.2-3)」を参照してください。

株式会社ミマキエンジニアリング

Printed in Japan
D201234-1.10-20062007

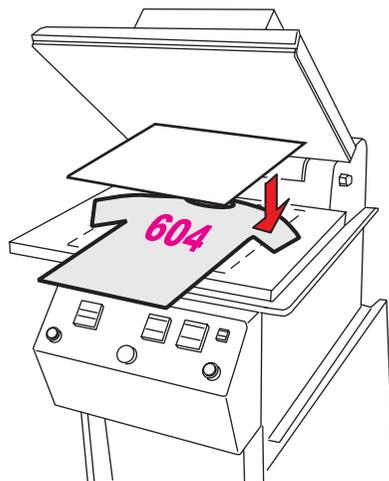
プレスする（取扱説明書 P.2-17）

プリントが終了したら、メディア（Tシャツ）を取り外し、プレス機にかけてインクを定着させます。

- ★ **プリント面を白地につけないように注意してください。インクが乾いていないので、汚れる原因になります。**
- ★ **専用のプレス機をご使用ください。**
  温度が高くなると、素材によっては焦げることがあります。
  また、アイロン加熱では、適する条件に設定するのが難しく、高い洗濯堅牢度が得られません。
- ★ **メディア（Tシャツ）をプリントしてから後処理までの時間を一定にしてください。プリントしてから後処理までの時間によって、できあがったメディア（Tシャツ）の発色に若干の差が発生する場合があります。完全に乾燥する前に後処理を行うことにより、捨て紙にインクが取られてしまうことが原因です。**
- ★ **抜染液を使用した場合は、5分以内にプレス加熱処理してください。 5分以上経過すると抜染の効果が弱くなります。**

操作手順

1. プリント面に紙をのせ、その上から専用のプレス機で加熱します。

- ★ **加熱条件は、素材や使用する装置の性能により異なります。**
  必ず使用状況にあわせ、最適な条件を設定してください。
- ★ **洗濯堅牢度は、素材や後処理条件により異なります。**
  最適な条件を設定後、染色堅牢度試験にてご確認ください。
- ★ **染色堅牢度、発色は、作業環境（気温や温度）の影響で大きく変化する場合があります。同一の作業環境下でのプリントを推奨いたします。**

参考条件

	プレス機
温度	160 ℃
時間	60 秒
圧力	0.45 kg/cm^2

すべてのバージョンで適用

インク仕様（取扱説明書 P. 付録 -3）

項　目		仕　様
形態		専用カートリッジ
容量		210cc/ カートリッジ
有効期間		製造日より 1 年間（常温）、開封から 3 カ月以内
保存温度	保存時	1℃～40℃（40℃の場合 1 カ月以内）
	輸送時	1℃～60℃ （60℃の場合 120 時間以内、40℃の場合 1 カ月以内）

★ インクは、寒い場所に長時間放置すると凍結する場合があります。
凍結した場合は、室温（25℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。

★ インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。

抜染液 / 洗浄液仕様（取扱説明書 P. 付録 -3）

項　目		仕　様
形態		専用カートリッジ
種類		洗浄液　(SPC-0422)
		抜染液　(SPC-0409)
容量		220cc/ カートリッジ
有効期間	洗浄液	製造日より 1 年間（常温）、開封から 3 カ月以内
	抜染液	製造日より 9ヶ月間（常温）、開封から 3 カ月以内
保存温度	保存時	15℃～35℃（冷暗所保管）
	輸送時	0℃～60℃（2 週間以内）

★ 抜染液および洗浄液は、寒い場所に長時間放置すると凍結する場合があります。抜染液は－ 20℃以下にしないでください。
凍結した場合は、室温（25℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。

★ カートリッジを分解したり、詰め替えないでください。

FW Ver.1.60 以降

画像データをプリントする（取扱説明書 P.2-15）

手順２でプリントが終了すると、テーブルが最前面に移動し、終了をお知らせするブザー音がなります。その後、ローカルモードに戻ります。

プリントを中止する（取扱説明書 P.2-16）

操作手順

① 取扱説明書 P.2-16　手順１～３までの操作をします。

② 【ENTER】キーを押します。

受信したデータを消去し、テーブルが最前面に移動します。

ヘッドの高さを変更する[ﾍｯﾄﾞｷﾞｬｯﾌﾟ]（取扱説明書 P.4-15）

「1.Z キーを押してヘッドギャップを指定する」に補足説明が追加になります。

操作手順

① ローカルモードでＺキー【▲】【▼】を押し、ヘッドの高さを上下に 調整します。

ゲンテンセッテイ
Zタカサ　　　　3.0

② 高さを決定したら、【ENTER】キーを押します。

- **手順２で指定できるヘッドの高さは、1.0～8.0mm の範囲です。**
- **操作の途中でヘッドギャップの調整を中止したい場合は、以下のようにしてください。**
  1. **手順２の操作をする前に【END】キーを押します。**
  2. **現在のヘッド位置からメディア高さを検出し、「メディア高さ＋ヘッドギャップ値」までヘッド位置が移動します。**